

# Adobe Document Cloud

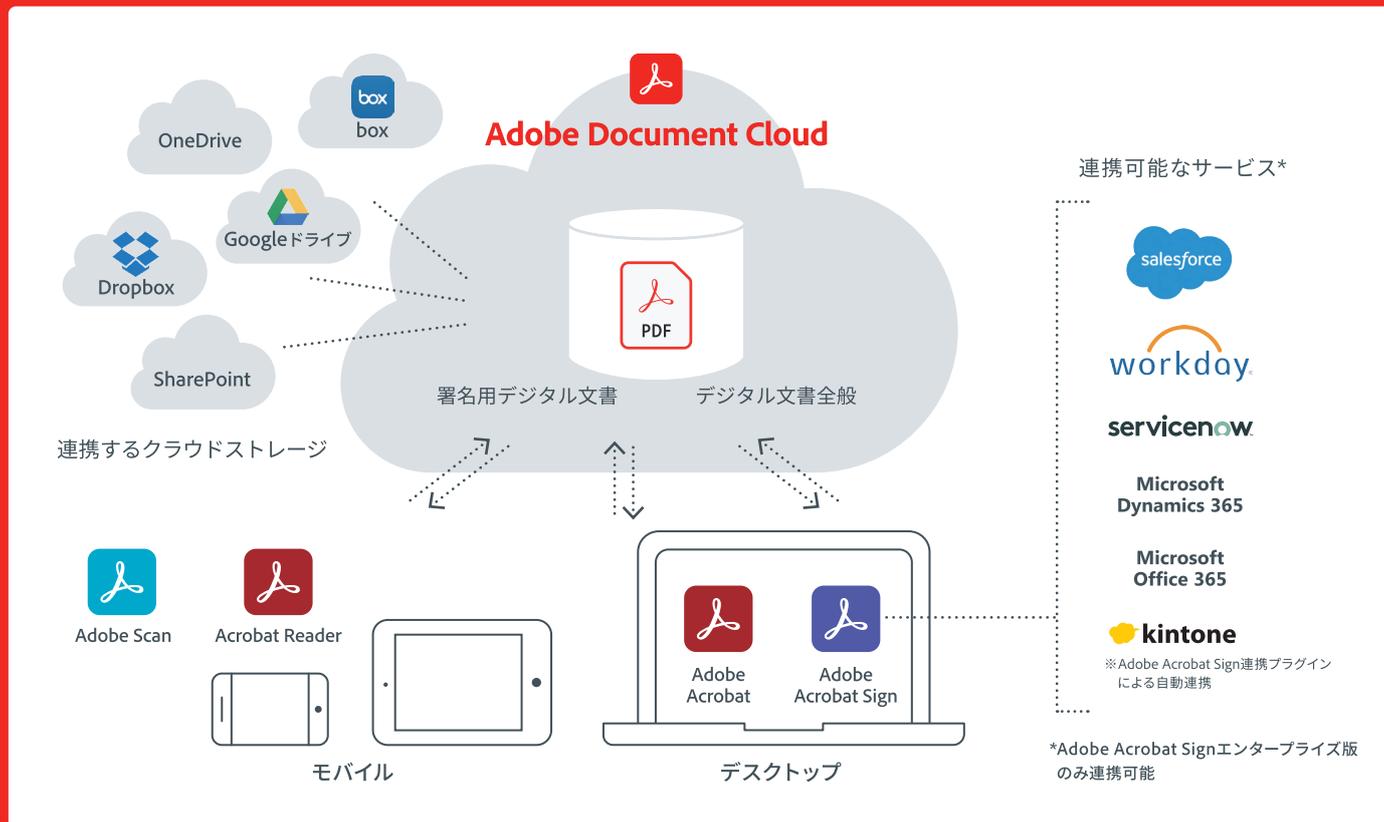
総合カタログ

あなたのビジネスを、もっとAcrobatに。

# Adobe Document Cloud

## 組織のデジタル変革を推進するドキュメントプラットフォーム

PDFで世界を変えたアドビが、再びクラウドで世界を変えます。Adobe Document Cloudは、PDFテクノロジーをベースに、Adobe Acrobat、Adobe Acrobat Sign、モバイル版アプリ、そして各種オンラインサービスを統合したクラウド型ドキュメントプラットフォームです。既存のシステムとも連携し、時間と場所の制約にとられないスピーディで安全なドキュメントワークフローを実現します。



## Adobe Document Cloud 製品ファミリー

### ▼ デスクトップ製品



#### Adobe Acrobat Pro

PDF文書を最大限に活用するためのトータルソリューション



#### Adobe Acrobat Standard

信頼性の高いPDFを作成・活用するための基本機能を搭載



#### Adobe Acrobat Reader

PDFを確実に表示し、注釈や印刷が可能な無償アプリ



#### Adobe Acrobat Sign

場所やデバイスを問わない電子サインソリューション

### ▼ モバイル版アプリ\*1



#### Adobe Acrobat Reader\*2

デスクトップでの文書作業をモバイルデバイスで継続



#### Adobe Scan

紙の文書をスキャンし、高品質で汎用性の高いPDFに変換

\*1 App StoreまたはGoogle Playから無償でダウンロードできます。 \*2 サブスクリプションプランを購入すれば、有償の追加機能を利用できます。

Document Cloudについての詳しい情報は <https://www.adobe.com/jp/acrobat/business.html>



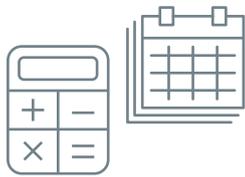
# Document Cloudを利用するメリット

Document Cloudのソリューションを最大限に活用するには、サブスクリプションでの利用がおすすめです。サブスクリプションは、契約期間内に一定の金額をお支払いいただくことで、常に最新の製品とサービスをご利用いただけるほか、従来の永続ライセンスにはない以下のようなメリットがあります。法人向け（グループ版・エンタープライズ版）では、組織のポリシーに準拠した設定を組み込んだインストーラーを作成するなどガバナンス強化にも対応できます。

## 予算管理が容易

年間契約プランのため、年間の予算が立てやすく、初期費用も低く抑えられます。経費としての計上も可能です。

CAPEX（設備投資）ではなく、OPEX（販管費）に。



## 管理者の負担軽減

組織の変化に応じて利用者を自由に変更できます。ライセンスの追加や割り当て、付け替えなどを1つの管理画面から簡単に行えます。誰がどの製品を使用しているか常に把握することができます。



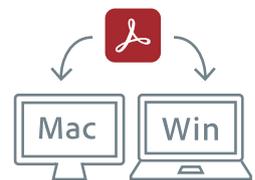
## 使いたい時にすぐに使える

面倒な購入手続きは不要。メンバーにライセンスを割り当てればすぐに使用を開始できます。注文から納品までのタイムラグがなくなり、仕事を滞りなく進められます。



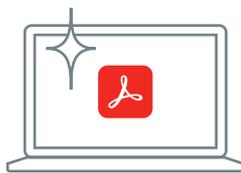
## OS問わず2台まで使える

MacとWindowsのどちらでも、1人の使用者につき2台までのコンピューターに製品をインストールすることができます（同時起動はできません）。会社と自宅で使い分けることも可能です。



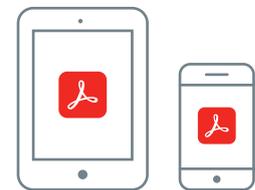
## 堅牢なセキュリティを維持

契約期間中は、常に最新の製品と機能が使用できるため、買い替えるの必要がありません。また、最新のセキュリティアップデートが継続的に提供されるため、コンプライアンスも担保できます。



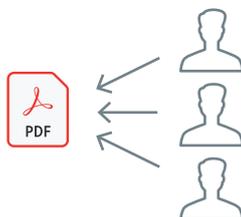
## 場所やデバイスを問わず作業を継続

モバイル版アプリを使用すれば、デスクトップで行っていた作業をそのままスマートフォンやタブレットで継続できます。ファイルは常に最新の状態でクラウド上に保存されます。



## 様々な文書業務を効率化

デバイスを問わず複数人が同時にPDFにコメントを追加したり、内容を確認したりできます。また、電子サイン機能を使えば、手書きの署名や押印が必要だった契約および承認業務も電子化できます。



## 既存システムとのシームレスな連携\*

既にお使いのシステム、プロセス、アプリケーションにDocument Cloudソリューションを簡単に追加できます。API連携による電子サイン機能とカスタムアプリケーションの統合も可能です。



## Adobe SenseiによるDocument Cloudの機能向上

Adobe Senseiは、AI（人工知能）とマシンラーニング（機械学習）を統合したプラットフォームです。紙の書類から検索/編集可能なデジタル文書への自動変換、適切なフォントの自動選択、フォーム用フィールドの作成、署名の視認性の向上など、Document Cloudが提供する数々の機能にAdobe Senseiのテクノロジーが活かされています。



# Adobe AcrobatとPDF

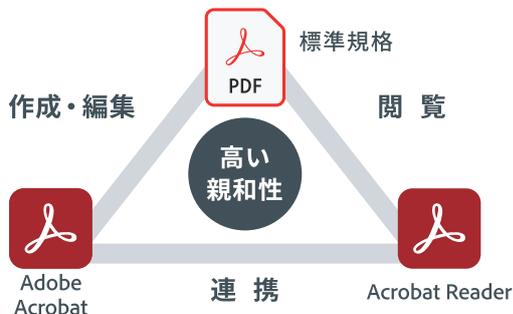
日常あたりまえのように目にするPDFは、どれも同じ品質のものとは限りません。全世界で普及しているAcrobat Readerでの閲覧が保証されているのは、Acrobatをはじめとするアドビ製品で作成したPDFだけです。



## Adobe Acrobatで作成したPDFはここが違う！

### どんな環境でも正確に表示

PDF、Acrobat、Acrobat Readerはアドビが開発し、共に進化を続けてきました。これらを組み合わせることで、最も信頼性の高いPDFを作成し、どんなデバイスやOSでも正確に表示、活用することができます。



### 長期保存に適している

PDFは、仕様が100%公開されたオープンフォーマットのため、長期的な閲覧に適しています。また、ISO標準規格に完全に準拠したPDFを、Acrobatで作成、検証することができます。



- 国際標準規格
- 将来性
- 長期閲覧保証

### 業務効率の向上

紙の文書をPDFに置き換えることで、時間と労力のかかる手作業を減らし、業務を効率化できます。保管場所を確保する必要もなく、紛失や破損なども防げます。



### 確実に情報伝達できる

PCはもとより、スマートフォンやタブレットでも、作成元の文書と同じ体裁でPDFを閲覧できます。文字化けや画像の抜け落ち、レイアウト崩れの心配はありません。



### 簡単に検索できる

PDFは文書内の文字検索が可能のため、必要な情報を素早く探し出せます。スキャンされた文字もOCR処理により検索が可能になります。



### 行政で採用される信頼性

Adobe Documnet Cloud<sup>1)</sup>は、政府情報システムのためのセキュリティ評価制度 (ISMAP<sup>2)</sup>の基準を満たすものとして登録されています。



### 改ざんを防止できる

パスワードや電子証明書を使った暗号化により、PDFへのアクセスを制御できます。情報漏洩や改ざんを防ぎ、安全に電子文書を配布できます。



<sup>1)</sup> Acrobat Pro, Acrobat Sign Solutions, PDF Services API <sup>2)</sup> Information system Security Management and Assessment Program

# 見るだけじゃない、AcrobatでPDFを最大限に活用

## 1. 作成

Office文書、画像、Webページ、メールなど様々な形式のファイルから簡単にPDFを作成できます。紙でしか残されていない書類や雑誌のページ、手書きのメモなども検索/編集可能なPDFに変換できます。



### 紙文書をスキャンしてPDFを作成

紙の書類をスキャナーで取り込み、テキスト認識(OCR)やゆがみ補正を自動で行いながら、検索可能なPDFに変換できます。モバイルアプリのAdobe Scanを使用すれば、スマートフォンのカメラで書類やホワイトボードの内容を撮影し、PDFに変換することも可能です。



Adobe Scanの  
ダウンロードはこちら



カメラを向けると、書類を自動で認識してシャッターが切られます



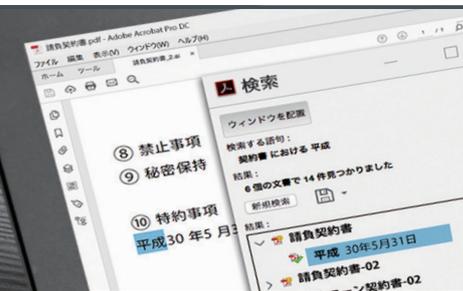
パースなどの画像のゆがみを補正し、まっすぐにします



OCR処理によりテキストが認識され、検索可能なPDFに変換されます

## 2. 検索

Acrobatの検索機能を使用すれば、キーワードを入力して現在開いているPDF内をすばやく検索できます。また、高度な検索を使用すれば、特定の場所に保存されたすべてのPDFを検索し、目的のファイルを簡単に見つけ出すことができます。



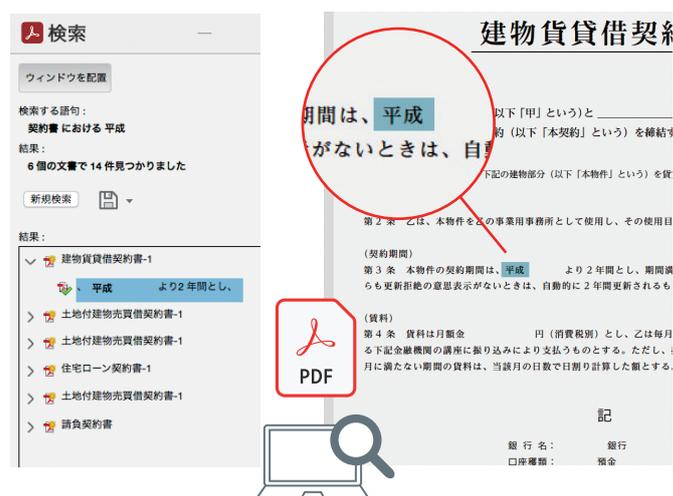
### 文書内の該当箇所を検索

簡易検索では、検索ツールバーに検索するテキストを入力すると、文書内の該当箇所がハイライト表示されます。検索と同時に代替テキストに置換することも可能です。



### 複数のPDFをまとめて検索

「高度な検索」では、PCやサーバーなど特定の場所に保存されたすべてのPDFを検索することが可能。検索結果から該当するファイルと項目をワンクリックで表示できます。



# 3. 編集

PDFの内容を変更するのに、作成元のファイルもアプリケーションも不要です。Acrobatなら、PDF上で直接テキストや画像を編集できます。また、PDFをWordやExcel、PowerPointの形式に書き出して、再利用するのも簡単です。



## PDFを直接編集して素早く修正

Acrobatの編集ツールを使って、PDF上で文字の修正や追加/削除、フォントの変更、箇条書きの設定などが行えます。また、画像の大きさや位置、トリミングを変更したり、別の画像に差し替えたりすることができます。

## Office形式に書き出して再利用

フォント、書式、レイアウトを保持したまま、PDFをWord、Excel、PowerPointのファイル形式に書き出せます。情報の再入力や書式の再設定は不要。Officeアプリケーションで開いてすぐに編集を開始できます。

PowerPointで設定された箇条書きがPDFでも保持され、項目を追加すると自動的に段落番号が表示されます。

# 4. 共有

文書を複数の関係者と共有し、それぞれのコメントを取りまとめるのは大変な作業です。Acrobatを使用すれば、チーム内でドキュメントをリアルタイムでレビューしたり、いつでもどこでもあらゆるデバイスで簡単に共同作業を行えます。



## 文書と注釈をリアルタイムで共有

共有レビューを使用すれば、PDFのリンクを一度に送信するだけで、複数の関係者がクラウド上の単一のPDFにアクセスし、互いに注釈やコメントを追加することが可能。全員の意見を簡単に取りまとめることができます。

## ストレージアカウントの連携

AcrobatのインターフェイスからBox、Dropbox、Googleドライブ、Microsoft OneDrive またはSharePointアカウントのファイルに直接アクセスし、デバイスまたはユーザー間で簡単に共有できます。

関係者がPCやスマートフォンから同じPDFにアクセスし、内容を確認したり、コメントを書き込んだりして、意見のすり合わせができます。

追加したいストレージを選択し、アカウントにログインしてAcrobatからのアクセスを許可します。

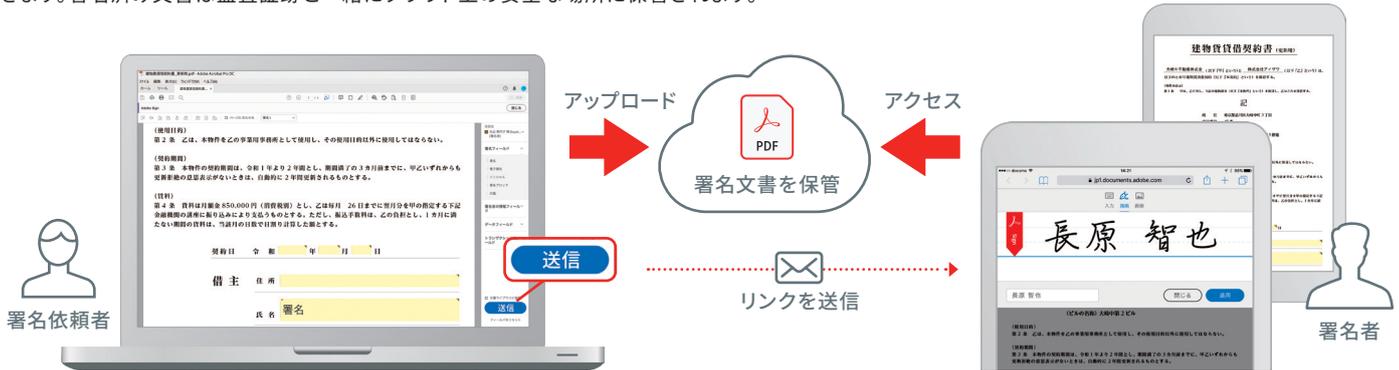
# 5. 署名

Adobe Acrobatの電子サイン機能を使用すれば、契約書や稟議書など署名が必要な文書をPDFで送信し、相手がどこにいても素早く署名をもらうことができます。署名は法的に有効で、文書は業界最先端のセキュリティ標準で保護されます。



## どこにいても署名を素早く収集

PCやモバイルからわずか数クリックするだけで署名用文書を送信できます。受信者はモバイルデバイスとブラウザがあれば、どこにいても数分で署名できます。署名済み文書は監査証拠と一緒にクラウド上の安全な場所に保管されます。



署名用文書をクラウドにアップロード。署名者にリンク付きの通知メールを送信します。相手がいつ文書を開き、署名し、送信したかを追跡できます。

通知メールのリンクから文書をブラウザで開き、署名、送信すると、署名済み文書としてクラウドに保存されます。

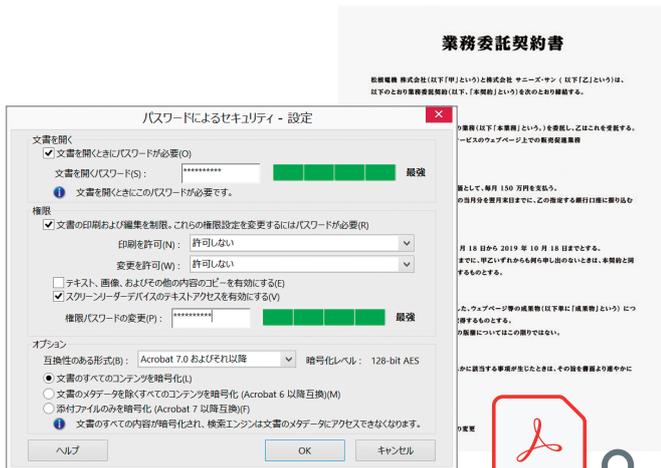
# 6. セキュリティ

文書をメールで送る、受け取る、PDFならそのどちらも安心です。高度なセキュリティ機能が、情報の漏えいや不正な改ざん、標的型攻撃などから、重要なデータやシステムを保護します。専門的な知識は不要です。



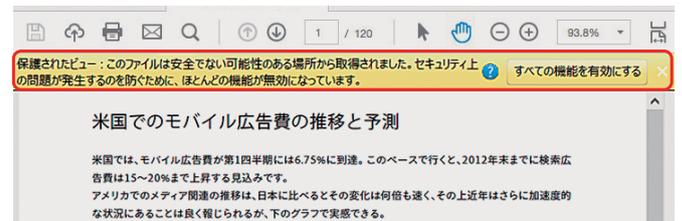
## 文書を保護して安全に配信

ファイルを開くためのパスワードのほか、編集や印刷、コピーなどを制限するための権限パスワードを設定して、重要文書を暗号化し安全に配信、共有することができます。

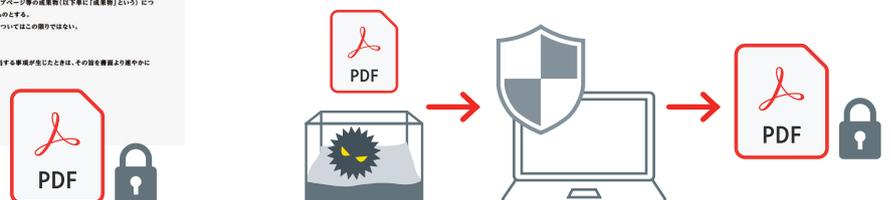


## アプリケーションセキュリティで受信も安心

「保護されたビュー」(サンドボックス技術)の採用により、万一PDFに不正プログラムが仕込まれていても、重要なシステムやデータにアクセスされるリスクを軽減します。

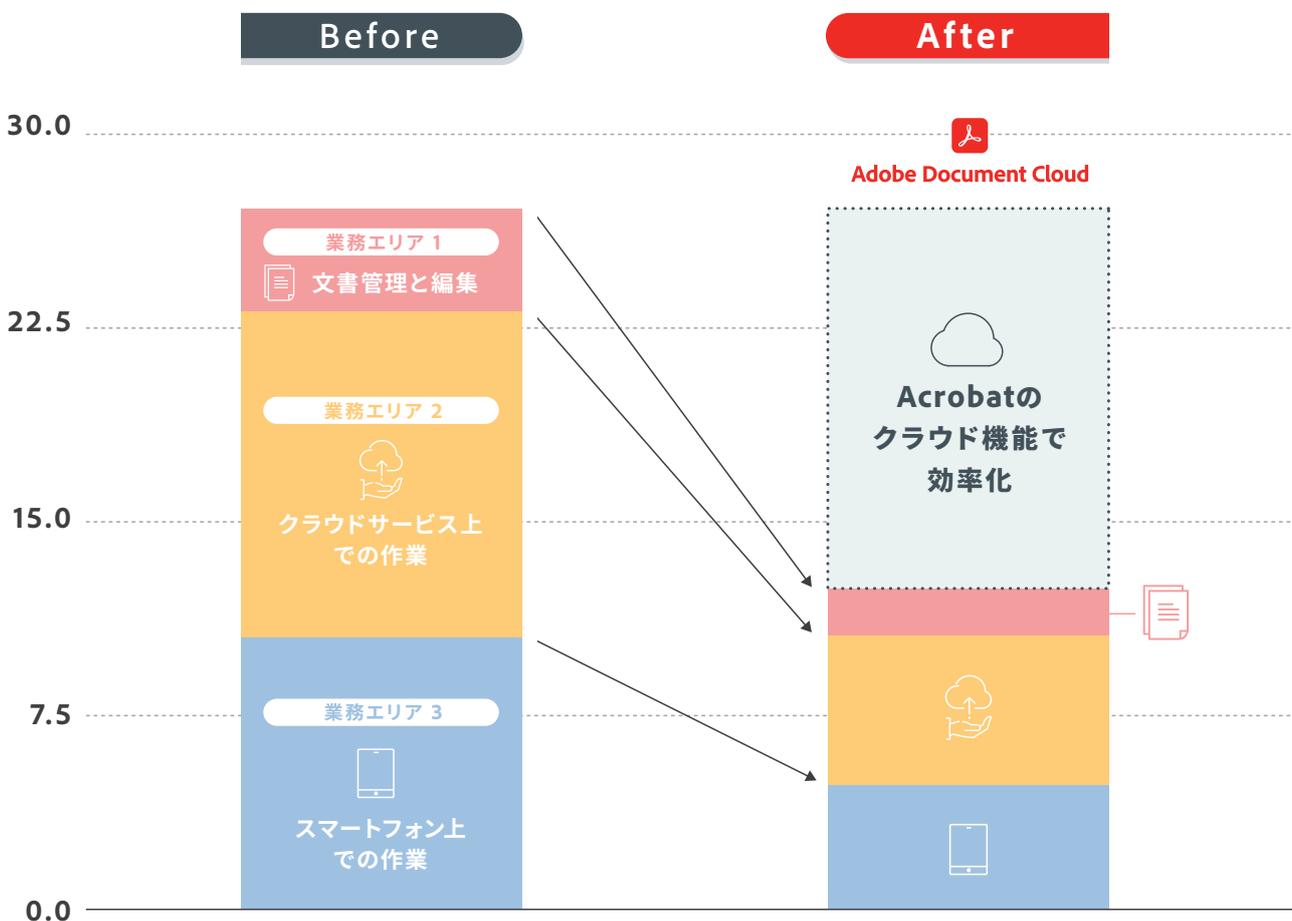


「保護されたビュー」を有効にすることで、権限が限定された環境でファイルが実行がされ、他のシステムへの影響を防ぎます



## Acrobatのクラウド機能で 作業効率化した結果

Acrobatのクラウド機能を利用する前後で、  
各雑務にかかる時間(分)を比較



調査した業務、ひとりあたり → **65%**の効率化

5人チームの場合 → コスト効果 **112万円+**/年

**65%**の詳細は次ページの付録で解説 →

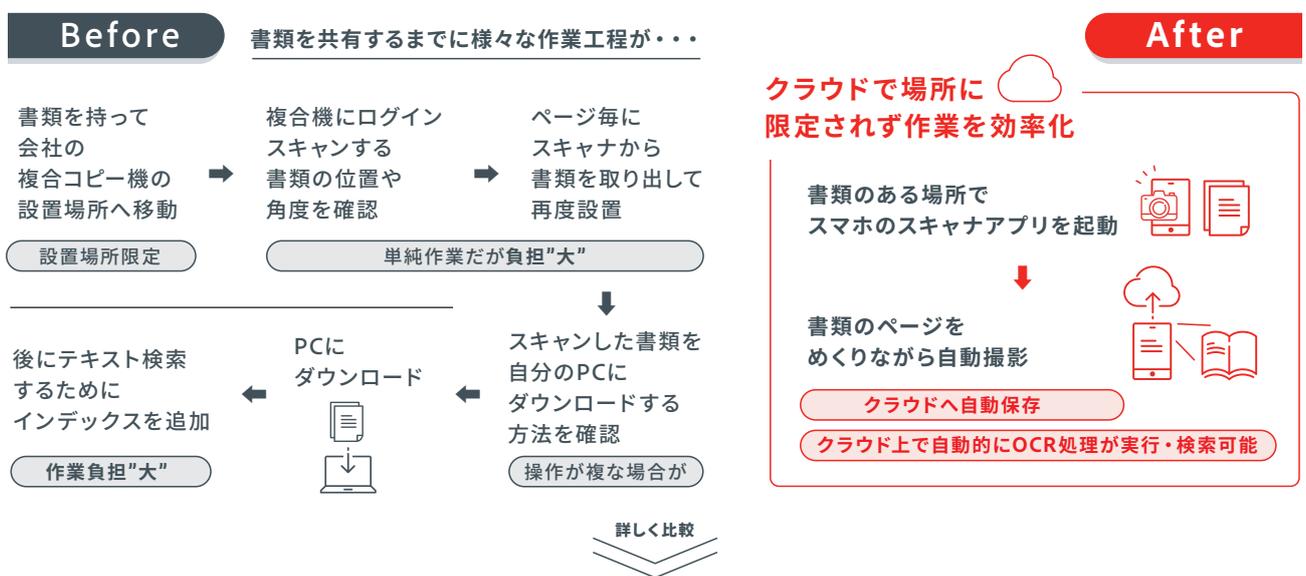
\* 第三者機関のベンチマーク調査結果を利用して計算 (詳細は付録参照)

[付録] 業務改善例のROIをベンチマーク調査結果より計算

# Acrobatのクラウド機能利用による作業の効率化を検証



Acrobatのクラウド機能を導入する前後で、作業あたりの負荷を比較



第3者機関による360以上のベンチマークを使用 Acrobatのクラウド機能利用による作業の効率化を検証						
360を超えるベンチマーク結果を使用 ROI計算対象の文書業務	クラウド無し(秒) Before	クラウド使用(秒) After	短縮した時間 (秒)	生産性向上ROI (%)	発生頻度 (週/回)	5人チームの場合の ROI (金額)
<b>業務エリア 1 文書管理と編集</b>						
業務文書のデジタル化 (48のベンチマークの平均)	64.18	28.97	35.21	54.86%	10回	¥7,350
スキャンした文書のテキスト検索 (6のベンチマークの平均)	123.21	16.14	107.07	86.9%	1回	¥2,228
<b>業務エリア 2 クラウドサービス上での作業</b>						
1つのファイルを モバイルデバイスで利用可能にする (12のベンチマークの平均)	81.75	42.28	39.47	48.28%	3回	¥2,475
複数のモバイルデバイスで クラウド上のファイルを更新 (27のベンチマークの平均)	121.9	53.4	68.5	56.19%	4回	¥5,700
<b>業務エリア 3 スマートフォン上での作業</b>						
1つの文書の取り込み・切り抜き・整形 (12のベンチマークの平均)	66.22	20.65	45.57	68.81%	4回	¥3,810
					一週間のコスト効果	¥21,563
					年間のコスト効果	¥1,121,250

ベンチマーク調査結果・出典：2022年  
Pfeiffer Consulting社による調査  
"The ROI of Acrobat and PDF Document Management"より1ポンドを150円として計算

# Acrobat Document Cloud 製品比較

		Acrobat Standard	Acrobat Pro	Acrobat Sign Solutions ビジネス版	Acrobat Sign Solutions エンタープライズ版	
主な機能	電子サインの依頼	web アプリやモバイルアプリを使用して、受信者がどこにいてもあらゆるデバイスで署名できる文書を送信	●	●	●	●
	リマインダーと通知	署名状況のトラッキング、電子メールでの通知の受け取りと、リマインダーの送信	●	●	●	●
	トランザクション数の制限なし	トランザクション数の制限なく電子サインの依頼と収集	●	●		
	ブランディング	簡単に自社のロゴ、タグライン、キーマッセージを追加して、統一されたブランディングで署名体験を構築		●	●	●
	ユーザーとグループの管理	アクティブユーザーの管理、ユーザーグループ別設定の定義			●	●
	セルフサービス web フォームの作成	閲覧者が契約書に簡単に署名できるように、署名可能なフォームをwebサイトに投稿する		●	●	●
	オンラインで支払い	フォームへの入力と署名の際に、契約料や寄付、オンライン注文などの支払いを Braintree アカウントを使って回収 (日本ではご利用いただけません)		●	●	●
	管理制御	ユーザーと設定を管理することで、契約書を管理制御		●	●	●
	拡張電子サイン認証	スマートフォンで受け取ったワンタイム確認コードの入力、またはナレッジベース認証の使用を署名者に要求*			●	●
カスタマイズと最適化	ビルド済みの連携機能	Microsoft SharePointと Dynamics、Salesforce、Workday、ServiceNow、Ariba、Apttus など、70 を超えるビジネスアプリケーションに、ビルド済みの連携機能を使い電子サインをすばやく追加				●
	言語	送信者と署名者それぞれが、34 言語の中から選択可能	●	●	●	●
	共有ドキュメントライブラリ	よく使用する文書とフォームを再利用可能なテンプレートとして保存し、グループ内で共有		●	●	●
	バルクサイン (署名の一括依頼)	一括送信ツールを使って同じ文書を多数の人に送信し、それぞれ個別の署名入り文書を回収†		●	●	●
	高度なフォーム	フォームに高度な計算式、条件付きロジック、ハイパーリンクなどを追加		●	●	●
	拡張電子サイン認証	スマートフォンで受け取ったワンタイム確認コードの入力、またはナレッジベース認証の使用を署名者に要求*			●	●
	高度なロールとルーティング	ビジネスプロセスを詳細にコントロール。署名と承認、フォームへの入力などの共同作業手順、認証済み受信者への配信などを自動化				●
	ワークフローデザイナー	ビジュアルデザイナーを使用して、一貫性があり、ミスの発生を防ぐ署名ワークフローテンプレートを作成				●
	高度な言語サポート	他の言語でも署名の依頼が可能				●
連携機能	Microsoft 365	Microsoft Word、Outlook、PowerPoint、Teams から署名が必要な文書を直接送信†	●	●	●	●
	Google ドライブ	Google ドライブから署名用に文書を直接送信§	●	●	●	●
	Box	Box から署名用に PDF と Word 文書を直接送信	●	●	●	●
	ビルド済みの連携機能	Salesforce、Workday、ServiceNow、Ariba、Apttus などのビジネスアプリケーションに、ビルド済みの連携機能を使い電子サインをすばやく追加				●
	Microsoft が推奨	SharePoint、Dynamics、Teams、Power Automate、Power Apps を含むエンタープライズ製品全般の電子サインソリューションとして Acrobat Sign を推奨				●
	API	電子サインプロセスをカスタムビジネスアプリケーションに組み込み、包括的な API を使用してバックエンドシステムで自動的にデータを更新				●

		Acrobat Standard	Acrobat Pro	Acrobat Sign Solutions ビジネス版	Acrobat Sign Solutions エンタープライズ版	
管理	セキュリティ認証	ISO 27001およびSOC 2 Type 2への準拠の認定	●	●	●	●
	アプリケーションエクスペリエンスのカスタマイズ	セキュリティ、認証、送信ページなどのデフォルトの設定を詳細に調整			●	●
	エンタープライズサポート	専門スタッフによるライセンス、その他のIT関連問題に対するサポート、サポートケースの開始とトラック	● <sup>§</sup>	● <sup>§</sup>	●	●
	シングルサインオン	ユーザーは既存のFederated IDを使用してログイン <sup>¶</sup>	● <sup>§</sup>	● <sup>§</sup>	●	●
	署名の委任	アカウントの表示、送信、変更を別のユーザーに委任 (休暇中や退職などの場合)				●
コア機能	フォームを準備	Adobe SenseiのAI技術により、送信前に文書に署名と連絡フィールドを自動的に追加。カスタムフォームフィールドの作成も可能	●	●	●	●
	署名	受信者はダウンロードやログインせずに、リンクをクリックするだけで文書を開いて署名することが可能	●	●	●	●
	本人の手書き署名	モバイルアプリを使用して、他の人から手書き署名を取得	●	●	●	●
	トラックと管理	署名状況のトラッキング、電子メールでの通知の受け取りと、リマインダーの送信	●	●	●	●
	記録を保持	自動的に署名済みの文書と監査証跡を安全に保存し、すべての関係者にコピーを送信	●	●	●	●
	モバイルでスキャンと署名	モバイルデバイスのカメラ機能で紙文書の写真を撮り、くっきりと見やすい電子文書に変換してから署名用に送信	●	●	●	●
	クロスデバイスで署名	署名するコンピューターがタッチ非対応な場合、モバイルデバイスにテキストメッセージを送信して手書き署名の追加が可能	●	●	●	●
	手書き署名ワークフロー	FAXを使用せずに、文書の印刷、署名、スキャン、返信が可能。手書き署名を利用しても、署名者の同一性と文書の真正性を検証可能	●	●	●	●
	デジタル署名	署名に関する最も厳しい法規制に準拠。署名者は証明書ベースのデジタルIDを使用して、デスクトップPCまたはクラウドベースのデジタル署名による本人認証が可能		●	●	●
	スタンプ	受信者は自分の文書またはフォームにビジネススタンプの表示を追加。受領印、社印などの他、日本では個人の認印としても使用可能	●	●	●	●
シンプルで電子サイン認証	電子メールを送信して他のユーザーに署名を依頼し、必要に応じて、署名の前にパスワードの入力を要求	●	●	●	●	

\* ナレッジベース認証は別料金で、米国内でのみ利用可能

† Acrobat Proでは一度に受信者数50件まで、Acrobat Signソリューションビジネス版またはエンタープライズ版では一度に受信者数300件まで

‡ Microsoft AppSourceによる無料のアドインが必要

§ Google Workspace Marketplaceによる無料のAdobe Acrobat for Google Driveアドインが必要

¶ Acrobatエンタープライズ版 (VIP) が必要

# Adobe Acrobat Pro / Acrobat Pro 2020 の製品比較

Adobe Acrobat Pro (VIP: バリューインセンティブプラン) は、共同作業、デバイス間での安全な作業、拡張電子サイン、主要なビジネスアプリケーション (Microsoft、Google、Box など) との連携など、リモート / ハイブリッドワークをサポートする完全なオールインワンの PDF および電子サインソリューションです。



		Acrobat Pro 2020 (ライセンス・パッケージ)	Acrobat Pro (サブスクリプション版)
PDFの管理と操作	コンピューター、モバイルデバイスまたはweb ブラウザーから PDF コンテンツを表示、操作、コメントの追加	○	●
	閲覧、レビュー、署名用の文書のリストにアクセスし、詳細なタスク情報を確認		●
	他の人が文書をレビュー、署名したとき、または他の人から対応をリクエストされたとき、どのデバイスからでもアラートを受信		●
	オンラインでファイルを保存、管理、共有し、最近表示したファイルにどのデバイスからでも瞬時にアクセス	○	●
	Box、Dropbox、Google ドライブ、Microsoft OneDrive のアカウントで PDF にアクセス、編集、保存	○	●
	タブ表示により 1 つのウィンドウで複数の PDF を開く	●	●
	2 つのバージョンの PDF を比較し、すべての差分をレビュー	●	●
ホームビューで、PDF を整理、管理、検索し、すべての操作を一元管理	●	●	
PDFの作成と保護	コンピューター、モバイルデバイス、web ブラウザーで PDF を作成	○	●
	Mac 版 Microsoft 365 と Microsoft 365 アプリで、高品質の保護された PDF を作成		●
	SharePoint と OneDrive のツールバーから PDF を作成、結合、変換		●
	デスクトップでもモバイルデバイスでも、Adobe Photoshop (PSD)、Illustrator (AI)、InDesign (INDD) 形式のファイルを簡単に PDF に変換		●
	印刷機能を持つあらゆるアプリケーションから PDF を作成	●	●
	文書と画像を PDF に変換	●	●
	Windows 版 Microsoft 365 デスクトップアプリから PDF を作成、保護、送信	●	●
	複数の文書やファイル形式をまとめて単一の PDF を作成	●	●
	web ページをリンク付きのインタラクティブ PDF に変換	●	●
	ほかのユーザーが機密情報をコピー、編集、印刷できないように、PDF を保護	●	●
	パスワード保護された PDF を作成	●	●
	PDF/A、PDF/X など、ISO 規格に準拠した形式への PDF 変換または適合性の検証	●	●
	障がいのあるユーザーのためのアクセシビリティ基準を満たす PDF を作成および検証	●	●
アクションウィザードに従って一貫性の高い PDF を作成	●	●	
PDF 内の表示されている機密情報を墨消し	●	●	
PDFの編集と変換	コンピューター、モバイルデバイス、web ブラウザーで PDF を別のファイル形式に変換	○	●
	iPhone、iPad、Android タブレット、Android 対応 Chromebook で、PDF のテキストと画像を編集し、ページを整理		●
	PDF のテキストと画像を編集、ページ全体の段落を折り返し	●	●
	書式設定を正確に保持したまま、PDF を編集可能な Microsoft Word、Excel、PowerPoint ファイルに変換	●	●
	PDF から JPEG、TIFF、PNG 画像形式に変換	●	●
	PDF のページを挿入、削減、整理	●	●
	番号付きや箇条書きリストを作成、書式の再設定は不要	●	●
	スキャンした文書を瞬時に検索、編集可能な PDF に変換、元と同じフォントを維持	●	●
	PDF にオーディオ、ビデオ、インタラクティブオブジェクトを追加	●	●
	高品質な印刷物を制作するためにファイルをプリフライト、準備	●	●
	プリフライトライブラリを使用して、カスタマイズしたプロファイル、チェックおよびフィックスアップのセットを取得	●	●
法的文書に通り番号を追加	●	●	
電子サイン用に文書を送信	<b>トランザクション数の制限なし</b> に制限なく電子サインを作成および収集し、リアルタイムに処理状況をトラック		●
	<b>一括送信</b> —同じ契約書を署名用に複数の人に送信		●
	<b>セルフサービス web フォーム</b> —PDF と文書を自社の web サイトに設置し、顧客が web 上ですぐに入力、署名し、送信できるようにする		●
	<b>カスタムブランディング</b> —自社のブランディングに合わせて署名依頼をカスタマイズ		●
	<b>管理</b> —ユーザー、グループ、管理者を管理		●
	<b>支払いの回収</b> — <b>Braintree</b> (日本ではご利用いただけません) を使い、顧客からの署名の回収と支払いを 1 回の取引で処理		●
PDFへのコメント追加と共有	PDF リンクを共有して受信者が表示、コメント、署名できるようにし、受信者が操作したときに通知を送信		●
	紙または Word ファイルを入力可能な PDF フォームに変換	●	●
	オートフィルコレクションのデータを使用して、コンピューターまたはモバイルデバイスからフォームに入力、署名、送信	●	●
	グループフィードバックを 1 つのオンライン PDF で収集 (レビュー担当者はログイン不要)		●
	テキスト編集、ハイライト表示、ノート注釈を含む総合的マークアップツールを使用して、PDF にコメント追加	●	●
	Windows または macOS から、Microsoft 365 サイトで SharePoint ベースのレビューをホスト	●	●
	Microsoft Teams 内でレビューとコメント		●
組織規模でのデプロイと管理	web ベースのコンソールで、ライセンスの追加、削除、再割り当て、トラック、ユーザーやグループの管理、複数の管理ロールの設定		●
	Acrobat Pro、Standard、Acrobat Reader 製品とアップデータを、Adobe Update Server Setup Tool (AUSST) で設定したローカルサーバーからデプロイし、Remote Update Manager (RUM) で自動的にデプロイ	●	●
	Citrix XenApp、Citrix XenDesktop、VMware Horizon、Microsoft App-V、Microsoft Windows Terminal Server (WTS) における仮想化環境で、シリアルまたはユーザー指定ライセンスをサポート	●	●
	アプリケーションセキュリティおよびサンドボックス技術でシステムとデータを保護	●	●
	Acrobat Customization Wizard および Acrobat Enterprise Toolkit で機能と設定をカスタマイズ	●	●
	Microsoft SCCM/SCUP および Apple Remote Desktop を使用してデプロイ、アップデート	●	●

○ 機能の一部のみが含まれる

# Acrobat Proの電子サインを強化

近年の文書業務のDX化のニーズの高まりを受け、PDFの作成、編集から電子契約まで一貫してお客様の文書課題を解決するために、Acrobat Proの電子契約機能を拡充しました。

## 電子契約における機能拡充の内容



### 電子契約の使用回数を無制限に拡大

電子契約の利用回数上限を従来の150回/年から無制限に引き上げます。



### カスタムブランディングの追加

電子契約の送信時に自社の会社名やロゴ、カスタマイズされたURLを使用可能です。



### Webサイト上での電子契約の収集

サイト訪問者や顧客が契約書や文書にオンラインで署名できるように、デジタルフォームをwebサイトに掲載可能です。



### 電子契約の一括送信

多数の署名依頼先に文書をワンクリックで一括送信（上限50人）。電子契約への署名が完了すると通知を受信できます。

## 法人向けライセンスの購入について

アドビ購入プログラムは、組織の規模に関わらず、効率的かつ費用対効果の高い方法で、組織内のメンバーに必要なツールとサービスを提供することができます。VIP（アドビバリューインセンティブプラン）やETLA（アドビエンタープライズチームライセンス契約）などのプログラムには、ソフトウェアの複数ライセンスを購入、デプロイ、管理するための様々なオプションが用意されています。



### VIP

柔軟なサブスクリプションライセンス

VIPは、ニーズが変化する組織に適した柔軟なサブスクリプションライセンスプログラムです。製品の全ての機能に加え、ライセンス管理を容易にするAdmin Console、予算サイクルに合わせた複数年契約、エキスパートによるサポート、お得なボリュームディスカウントなど、法人利用に適したサービスが揃っています。



### ETLA

カスタマイズ可能なタームライセンス

ETLAは、高度な管理、セキュリティ、サポートを必要とする中～大規模組織に最適な3年間のタームライセンスです。導入する製品や契約内容を組織のニーズに合わせてカスタマイズすることが可能。年単位の支払いであるため予算が立てやすく、組織の規模の拡大に応じてライセンスを追加し、年1回の契約応当日に補正することができます。

サブスクリプションライセンス	VIP	ETLA
対象製品	<ul style="list-style-type: none"> <li>Acrobat ビジネス版</li> <li>Acrobat エンタープライズ版</li> <li>Acrobat Sign ビジネス版</li> <li>Acrobat Sign エンタープライズ版</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Acrobat エンタープライズ版</li> <li>Acrobat Sign ビジネス版</li> <li>Acrobat Sign エンタープライズ版</li> </ul>
対象組織	ニーズが変化する組織	安定した組織や成長中の組織
契約期間	1～3年間	3年間
購入方法	都度、非集約	一括
支払方法	随時購入、支払い	年に1回まとめて注文

## ユーザーIDについて

アドビの製品およびサービスを利用する際のユーザーIDについては、Adobe ID（個人向け）、Adobe ID（法人向け）、Enterprise ID、Federated IDの4つのIDタイプをご利用いただけます。法人のご契約の場合は、Adobe ID（法人向け）、Enterprise ID、Federated IDの3つのIDタイプをご利用いただけます。Adobe ID（法人向け）、Enterprise ID、Federated IDの各モデルは、ユーザーのアプリや製品の使用権限を制御する必要がある「組織（法人）」に最適であり、Adobe ID（個人向け）は、「個人、フリーランサー」に適しています。Adobe ID（法人向け）、Enterprise ID、Federated IDは、法人が所有するため、システム管理者によるユーザーIDの削除を含めた完全な管理が可能になります。

IDタイプの比較	Federated ID (フェデレーテッド アイディ)	Enterprise ID (エンタープライズ アイディ)	Adobe ID (アドビ アイディ)	Adobe ID (アドビ アイディ)
用途	SSOを利用している企業向け	法人向け	法人向け	個人向け
認証システム	組織のIdPを利用	アドビが提供	アドビが提供	アドビが提供
ユーザーIDの保存先	組織のディレクトリと Admin Console	Admin Console	Admin Console	個人
パスワードの保存先	組織のディレクトリ	アドビ	アドビ	アドビ
IDの所属先	組織	組織	組織	個人
多要素認証	Idpにより実現	電話(SMS)による二段階認証	電話(SMS)による二段階認証	電話(SMS)による二段階認証
管理者によるIDの削除	○	○	○ <sup>*2</sup>	×
メールドメインの限定	○	○	○	×
ログ・監査証跡	○ <sup>*1</sup>	○	○	×
パスワードのリセット	サポートしない	リセットメールを送信	サポートしない	サポートしない
エンタープライズ版サポート	○	○	○	部分的にサポート
グループ版サポート	×	×	○	○
主な機能	お客様組織が作成、所有、管理します。ユーザー資格情報は組織が管理し、SAML2 ID プロバイダー (IdP) を使用してシングルサインオン (SSO) を処理します。	お客様組織が作成、所有、管理します。お客様の組織が、検証済みドメインにユーザーアカウントを作成する権利を保持します。	お客様組織が作成、所有、管理します。組織は、検証されていないドメイン、公開ドメイン、または信頼されているドメインにユーザーアカウントを作成します。	エンドユーザーが作成、所有、管理します。認証は Adobe が実行し、ID の管理はエンドユーザーがおこないます。
推奨される環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>•既に SSO または SAML を使用している組織</li> <li>•Google や Azure AD などディレクトリサービスを既に使用している</li> <li>•Adobe 以外のサービスとのシームレスな統合が必要であること</li> <li>•ドメインの所有権が実証できること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•ドメインの所有権が実証できること</li> <li>•SSO が不要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•組織はそれに所属しないドメインを優先的に使用</li> <li>•Hotmail, Gmail などのパブリックドメイン</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•ユーザー自身が管理</li> <li>•ユーザーは組織から離脱した後も、アセットを所有</li> </ul>

\*1 詳細なログの取得はIdPにより実現可能 \*2 Admin Consoleから削除しても、Adobe IDの個人プロフィール分は削除できません

# Adobe Acrobat ニーズに合わせて選べるプラン

プラン	個人版	VIP		ETLA	
		グループ版	エンタープライズ版	ビジネス版	エンタープライズ版
対象	個人、フリーランサー	中小規模組織		大規模組織	
Acrobat	Pro / Standard	Pro / Standard		Pro / Standard	
クラウド機能	●	●		●	
Admin Consoleによるライセンス管理	—	基本管理ツール	高度な管理ツール	高度な管理ツール	
グループ単位のライセンス管理	—	—	●	●	
最小ライセンス数	1ライセンス	1ライセンス	担当営業とご確認ください	担当営業とご確認ください	
契約期間	1年	1年または複数年の期間選択 (13~36ヶ月)		3年	
ユーザーID	Adobe ID	Adobe ID (法人向け)	Adobe ID (法人向け)、Enterprise ID、Federated ID	Adobe ID (法人向け)、Enterprise ID、Federated ID	
アドビサポート	プレミアムサポート*1	プレミアムサポート*1	エンタープライズサポート*2	エンタープライズサポート*2	
エキスパートサポートセッション*3	—	年2回	無制限	無制限	
ボリュームディスカウント	—	VIPセレクト (10ライセンス以上) で利用可能		担当営業とご確認ください	

\*1 電話、チャット、フォーラムでのテクニカルサポート

\*2 導入時の説明会およびデプロイメント支援、システム管理者向けサポート、優先的なテクニカルサポート

\*3 アドビ製品エキスパートによる1対1のサポートセッション

## 電子サイン機能比較

	Adobe Acrobat Standard サイン機能	Adobe Acrobat Pro サイン機能	Adobe Acrobat Sign Businessプラン	Adobe Acrobat Sign Enterpriseプラン
・アカウント管理	シングルユーザー	マルチユーザー	マルチユーザー	マルチユーザー
・Microsoft Office 365 & Teams連携	●	●	●*1	●*1
・セルフサイン (Fill & Sign)	●	●	●	●
・テンプレート共有		●	●	●
・グループ管理			●	●
・拡張設定	×	一部の機能	●	●
・受信者の役割	署名者	署名者 + フォーム入力者・認証者	署名者・フォーム入力者・認証者	署名者・フォーム入力者・認証者 + 同意者・委任者
・カスタムブランディング		●	●	●
・Webフォーム機能		●	●	●
・マルチ署名者付き Webフォーム		●	●	●
・一括送信		50	300	300
・高度な計算フィールド		●	●	●
・署名者認証オプション			●	●
・ワークフローデザイナー				●
・APIの利用				●
・SharePoint, Dynamics, Salesforce, Workday, Ariba の連携				●
・アカウントの委任				●
・SOC2-Type (セキュリティ、可用性、機密性)	●	●	●	●
・業界固有の電子署名コンプライアンス*2	制限付き利用	制限付き利用	●	●
・クラウド署名コンソーシアム (CSC) 証明書ベースの署名			●	●
・署名を依頼 (回数制限なし)	●*3	●*3	●*3	●*3

\*1.セルフサインおよび、構造化自己署名機能の両方で利用できます。\*2.最新のコンプライアンスカバレッジについては、アドビコンプライアンス認定、標準、および規制にアクセスしてください。

\*3. 購買プランによる

# Document Cloud (Adobe Acrobat, Acrobat Sign) は、 たくさんの企業でご利用いただいています



## さまざまな業界で効果が出ています

<p><b>DENTSU DIGITAL</b></p> <p>Acrobat の機能を 活用し業務改革を推進。 リモートのコミュニケーションを深化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><b>情報伝達の効率化</b> 制作物の修正指示がスムーズに伝達でき、制作期間も20%短縮</li> <li><b>情報整理の省力化</b> 多様な形式のドキュメントをデジタル上でファイリング</li> <li><b>リモートワークへの対応</b> PDFと電子サインの組み合わせでほぼ100%のリモート化を実現</li> <li><b>書類保管スペースの削減</b> 請求書など証憑書類の電子化により、紙書類の保管スペースを削減</li> </ul>	<p><b>ソニー銀行</b></p> <p>Acrobat Sign でペーパーレスな住宅ローン契約を実現。契約締結までの期間も大幅に短縮</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><b>2〜3週間要していた契約業務が最短1時間程度に</b> 電子化することで、紙の契約書類を郵送する必要がない</li> <li><b>業務負荷とコストの削減</b> 書類受け渡しの進捗管理から解放され郵送費などのコストも圧縮</li> <li><b>実印・印鑑証明、印紙税が不要に</b> 実印や印鑑登録証明書が不要となり、お客様負担が軽減</li> <li><b>契約件数の大幅な増加に対応</b> 締結までの時間短縮で、増加している契約にも迅速に対応</li> </ul>
<p><b>TOYOTA FINANCE</b></p> <p>販売店との融資契約に 電子サインを導入 大幅な業務の効率化と コスト削減に成功</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><b>ペーパーレス化を実現</b> FAX書類を電子化しテレワークにも適応</li> <li><b>時間/業務工数の短縮</b> 融資契約受付の全工程で、月33時間程度の工数削減を実現</li> <li><b>コストの削減</b> 収入印紙代や郵送費をカット</li> <li><b>安全な電子契約の実現</b> グローバルセキュリティ基準に準拠した取引を推進</li> </ul>	<p><b>MTEC</b> MUFG 三菱UFJトラスト投資工学研究所</p> <p>Adobe PDF Extract API により PDF を テキスト自動抽出する スピードと精度が向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><b>文章の泣き別れを自動認識</b> 事前のOCRで、単語ではなく精度の高い文章としての抽出を実現</li> <li><b>PDF内の文章スタイルや画像も判別</b> 文書構造を維持したデータ抽出により文意を含めた分析が可能に</li> <li><b>事業のさらなる成長に寄与</b> より精度の高い調査が可能となり業務の幅が拡大する可能性も</li> <li><b>PDFのテキスト抽出を短期間で実現</b> 分析・検証サイクルのスピード向上に貢献</li> </ul>

導入に関するご相談は、お近くの取扱販売会社へお気軽にお問い合わせください。

アドビ株式会社 〒141-0032 東京都品川区大崎1-11-2 ゲートシティ大崎 イーストタワー  
www.adobe.com/jp/

このカタログに記載の情報は、2023年10月時点のものです。内容に関しては予告なく変更される場合がございますので、あらかじめご了承ください。

Adobe, the Adobe logo, Acrobat, the Adobe PDF logo, and Reader are either registered trademarks or trademarks of Adobe in the United States and/or other countries. All other trademarks are the property of their respective owners.  
© 2023 Adobe. All rights reserved. ASIST1965/10/23

